

RESAS (リーサス) 普及促進事業について (新規)

平成 28 年 2 月 24 日
総 合 政 策 課

1 事業の目的

地域経済分析システム「RESAS (リーサス)」の普及を図るため、民間団体等に対する説明会を開催するとともに、専門知識・技術の取得に向けた人材を育成するほか、RESASを活用した地域経済分析を行う。

2 事業内容

民間事業者の活用によるRESAS (リーサス) 普及支援業務委託

(1) RESASの普及促進

民間団体、大学、自治体職員等向けのRESAS活用説明会を開催する。

(2) RESASマスター人材の育成

事業者が研修会やインターネット講座を受講し、「RESASマスター」資格の取得に向けた専門知識や操作技術を習得する。

(3) RESASによる分析

産業別・地域別人口動態や産業構造の現状分析などから、本県及び県内市町村の強みや弱みなどの地域特性分析を行う。

3 予算額

4, 971 千円 (国 4, 971 千円)

国：地方創生加速化交付金

委託料	4, 726 千円
旅費	245 千円

○ (参考) 地域経済分析システムとは

※RESAS=Regional (地域) Economy (経済) Society (社会) Analyzing (分析) System (システム)
民間や省庁が保有するビッグデータを集約し、産業構造や人口動態、観光客の流れなどを「見える化」するシステムであり、平成 27 年 4 月に国がインターネット上で提供を開始した。公開されている主な内容は次のとおりであり、今後も分野を拡げていく予定である。

- ・【産業】稼ぐ力分析
- ・【地域経済循環】地域経済循環図
- ・【農林水産業】農業火花図
- ・【観光】From-to分析 (滞在人口)
- ・【人口】人口構成
- ・【自治体比較】企業数